

吉村真

地クラブ部長がゆく

工房探訪



ゴルファーの生涯を見守り
「四身一体」で工房を創る
GEO LABO 店長 赤澤一洋氏

レッスン、物販、計測、
研修の四身一体で全
国展開を目指す



クラブ部品メーカーのジオテックゴルフコンポーネントは昨年10月、「GEO LABO」(ジオラボ・千葉県千葉市)を開業した。総投資額は7000万円というから、相当な意気込みだ。店長の赤澤一洋氏は、USGTF(米国ゴルフティーチャー・フアウンデーション)のティーチング資格をもっておりレッスン、フィッター、クラブトマン、そして工房を開業したい人を支援する「工房研修」の講師としても活躍する一人4役を担っている。

そもそも「ジオラボ」は、本社事務所1階にあった工房&研修スペースに、レッスンとフィッティング施設を融合したもので、直営店「T-1」(3店舗)の頂点に位置する旗艦店として開業した経緯がある。そのため、フィッティングやレッスンはプロギアの「レッドアイロボ」と弾道計測器「スカイトラック」で対応。工房があっという間と考えました。

月に10件の研修
建は開業のしやすさ

(「ツールテンパー」などがあるという。

最後にクラブ部品メーカーが営む工房としての理想を聞いた。「初心者がゴルフを始めてから一生涯、面倒を見られる工房が理想です。その途中でクラブ作りに興味があれば、工房研修を受けてもらえばいいし、その意味ではゴルフクラブの「ユリカゴ」から墓場までをサポートできる存在になりたいですね」

クラブ市場全体に占めるカストム比率は増加している。これを担う工房群は玉石混交、千差万別の状況だが、その中で「ジオラボ」は教育機能を有するなど、技術底上げの使命も負っている。母体がパーツメーカーだけにそれも頷ける話ではある。

GOLF MECHANIX MOI SYSTEM



後は実地で起きた問題点をアフターフォローとして相談にのっています。それでも必要なら1日追加する提案もありますが、大事なのは開業後に起きるトライ&エラーなんです。工具や計測器の購入も同じで、開業時には最低限の機材しか購入を勧めません。営業していくうちに、店主が必要な工具がわかっていくと思うからです」

クラブは同じパーツの組み合わせでも、各パーツに製造公差があり、同じ物ができない。それを知るためにも実地体験が重要で、だから研修は基本的な要素に留まり、アフターフォローを重視する。最近では中国・四国地方や海外居住者の受講が多く、「工房開業の予備軍が多いです」

ね。40歳代になって、セカンドライフを考えての受講が目立ち、その3割が開業しています」

とはいえ、工房研修はあくまでも開業支援サービス。メインは工房機能での物販だ。そのフィッティングには「クラブMOI(慣性モーメント)マッチング」を活用するのが特徴だが、それだけに偏らないのが「ジオラボ」のフィッティングだ。

MOIとクラブバランスの
融合で先人観を排除する

まず、「MOIマッチング」とはどのようなモノか?

「クラブセッティングには重量フローや長さフローがありますが、これ以外に『振り心地のフロー』

工房研修は当初、①組立教室(料金3000円、クラブ1本約3時間)、②リシャフト教室(5000円、1本、3~5時間)、③開業コース(3万円/1日)の3タイプだったが、現在では②と③に簡素化されている。特に③は2日間連続の受講で、修了証を授与するなど付加価値の向上を図っているが、

ドライバーヘッド売れ筋ランキング

- 第1位 TUNE 02 / PRGR
- 第2位 GT D-617 / ジオテックゴルフコンポーネント
- 第3位 TUNE 01 / PRGR

ウッド用売れ筋シャフト

- 第1位 スピーダー・エボリューションIII / 藤倉ゴム工業
- 第2位 ディアマナBF / 三菱ケミカル
- 第3位 フブキV / 三菱ケミカル

企業情報



GEO LABO

〒260-0001
千葉県千葉市中央区都町2丁目27-5
TEL&FAX:043-386-1081
FB: <https://www.facebook.com/GeotechLabo>